

平成25年度

湯沢砂防だより

No.39

平成25年11月1日

国土交通省 湯沢砂防事務所

芋川砂防フィールドミュージアム「砂防講習会」を開催

10月28日(月)に、新潟県中越地震で甚大な被害を受けた芋川流域において、平成25年度 芋川砂防フィールドミュージアム砂防講習会（主催：芋川砂防フィールドミュージアム実行委員会(実行委員長：長岡造形大学 澤田雅浩准教授)・湯沢砂防事務所・山古志観光協会）を開催しました。

午前の部は、10月23日にオープンをした「やまこし復興交流館『おらたる』」にて室内講習を、午後の部は、芋川流域内をマイクロバスで移動しながら現地講習を行いました。

当日は天候にも恵まれ、観光ボランティアガイドや地域の方々約30名が参加されました。

<砂防講習会 プログラム>

室内講習

- ① あらためて思い起こす自然の猛威（中越地震当時の映像を使った土砂災害の説明）
- ② 芋川流域の土砂災害対策施設（砂防堰堤等）の説明とガイドのポイント&テクニック
- ③ やまこし復興交流館「おらたる」見学

現地講習

芋川流域の土砂災害対策施設を見学（見学場所やガイドのポイントを現地で講習）



澤田実行委員長 開会の挨拶



寺野河道閉塞対策工での講習



室内講習の様子



竜光遊砂地での講習

「芋川砂防フィールドミュージアム」とは？

新潟県中越地震で大規模な土砂災害に見舞われた芋川流域には、様々な形の土砂災害対策施設（砂防堰堤など）が施工されています。

これらの土砂災害対策施設を野外博物館の展示物と見なし、芋川流域全体を「自然と暮らしの博物館」として捉えることにより、歴史や文化、風景、災害体験、地域の復興過程などを学ぶことができます。